広報 てんのう

No.261

昭和59年
4月1日発行

発行・秋田県天王町役場　☎（0188）78—2211～4
編集・企画室　印刷・秋田協同印刷　☎（0188）23—7477～8

町のうごき

本籍数	6,086
本籍人口	18,096
世帯数	5,173 (5,173)
住民登録人口	18,593 (18,583)
内訳 男	9,104
内訳 女	9,489

3月1日現在
（　）内は2月1日現在

湖南地区

衛生センター操業開始

焼却炉に火入れをする管理者藤原町長

最新鋭設備を導入して

燃えるゴミと燃えないゴミに分けて

〝健康で住みよい環境づくり〟を目ざして、天王町・昭和町・飯田川町の3町が、2年計画で建設を進めてきた近代的ゴミ焼却施設・湖南地区衛生センターが、4月から本格的な操業に入った。

同センターは、昨年12月に完成。以来、燃えるゴミと燃えないゴミの分別を呼びかけながら試験操業を実施してきたもの。

3月24日には、関係者多数が出席のもと、同センターと最終処分場の竣工式が行われた。管理者である藤原町長は「ゴミ処理対策は、行政最大の課題である。新施設の高能率性を最大限に活用するよう全力を注ぎたい」と決意をのべた。

同センターは、大崎から東側1.5kmの八郎潟南部干拓地に位置し、総事業費約11億7千万円鉄筋コンクリート造。

最新鋭設備を導入し、運転管理は、全て6台のテレビカメラの設置してある中央制御室でおこなう他、公害対策にも万全を期している。

※ゴミの一般搬入については有料です。（10kg＝5円）

平和で心豊かな郷土天王町

第一回天王町議会定例会が開会され、昭和五十九年度の各会計予算ならびに、重要案件のご審議をお願いするにあたり、所信の一端を申し述べるとともに、関係予算の大綱のみについてご説明申しあげ議会ならびに町民各位のご協力とご理解を得たいと存じます。

町長施政方針要旨

限りある財源で最大の効果を

施政方針をのべる藤原町長

59年度は超緊縮型予算編成に

現在の日本をとりまく国際環境はあらゆる面において、誠に厳しく、かってのような高度経済成長を望むことは、もはや不可能であり、わが国の基盤が、少資源国で大量人口国であるという宿命的要因からして、貿易立国として生きていかねばならぬ先途は米国の牛肉、オレンジ問題をはじめ、諸外国との貿易摩擦が一段と厳しくなるものと思われます。

国内もまた、景気の先行きに明るさがみえてきたものの輸出主導の状態がつづいており、個人消費や国内需要がいぜん盛り上がりに欠け、内需不振はまだ当分続くであろうし、弱少な中・小・零細企業は、景気回復がくる前に企業体質を消耗し、息切れするような厳しい環境におかれている現状であります。

行財政改革、教育問題、高齢化社会への対応等多くの解決すべき難問をかかえつつ、五十九年度の政府予算は、いま、国会で審議中でありますが、国の財源難から超緊縮型予算となり、特に地方公共団体が大きく依存してきた地方交付税も五十八年度の四・九パーセント減から、さらに前年度比三・九パーセント減と二年連続マイナスとなるなど今年度は、地方財政制度の改革と相まって、歳出を大幅に削減した予算編成にならざるをえない状況となりました。

新しい時代に適応した行財政の確立を

このような社会経済情勢下にあっては、いずれの市町村を問わず、財政問題は避けて通れぬ道であり、これは単に短期的、またおカネだけの問題ではなく、長期的、構造的観点に立って、計画性ある行財政運用を考え、新しい時代に適応した行財政の確立をはからなければならないと思っております。

本町の財政事情も、過去における事業の遂行状況からして、誠に厳しいものがありますが、行政の合理化に意を用い、限られた財源のなかで、いかにすれば町民が少しでも豊かになり、住民にとって住みよい環境をつくることができるかを考え、効率的、民主的行政の推進をはかりたい考えであります。

これからの時代は①行政②地域③個人、各々の役割分担をさらに明確化し、除々に増税、公共料金の引き上げ等受益者負担増という形で流れ、家庭のなかに直結しながら移り変わってゆくものと推測されますが、皆さんのご家庭と同様「自らの町は自らの力でつくりあげる」を基本理念として、活力ある個性豊かな町づくりに懸命の努力をいたす覚悟でありますので、町民各位のご理解とご協力をせつにお願い申し上げる次第です。

経費の節減　合理化を推進

昭和五十九年度の予算編成は

① 財源の効率的配分に意を用い、厳選、重点主義に徹し事業計画をたてました。

② 既定経費の総点検をしながら、量的よりも、質的向上に意を用い、行政サービスの低下をきたさぬよう配慮いたし編成したつもりであります。

次に昭和五十九年度における基本的な施策は、

㈠ 心のかよいあう社会福祉の充実

㈡ 緑豊かな生活環境の整備

㈢ 活力ある産業の振興

㈣ 心と身体をきたえ育てる教育の振興、充実

・・・・の四点を重点とし各々が自ら「何かをやろう」とする意欲をもち、それを実行していくなかで、将来の展望を誤らない、文化的、心豊かな郷土建設に努力をいたしその成果を期したい考えであります。

一般会計予算は歳入歳出ともに、二十五億二千六百万円昨年度当初予算比で一〇・五パーセント減となりました。

歳入では、町税において昨年度当初予算比で八・一七パーセント増。地方交付税では

昨年度決定額の五・〇パーセント減であります。繰入金（財政調整基金）から一億六千万円、繰越金として九千三百万円の予算計上であります。

歳出においては、経費の節減、合理化をはかるとともに各般にわたり条件整備に意を用いましたが、いくつかの国県の補助事業と当初抑制した事業等については、今後の財政事情を検討しながら補正によらなければならない実情にあります。

町営バス特別会計を設置

次に、各特別会計予算について申し上げます。

国民健康保険事業特別会計の予算総額は、九億二千二百六万八千円で昨年当初比で七・六パーセントの増となっており、医療費増によるものでありますが、収支の均衡を計るため約十五パーセントの増税とならざるをえない状況となりました。

簡易水道事業特別会計の予算総額は、七千百四十八万円で昨年当初比で三・二パーセントの減であります。出戸地区簡易水道事業は認可設計業務委託費等七百九十一万六千円の予算計上になっております。

公共下水道事業特別会計の予算総額は、一億六千九百五十八万九千円で昨年当初比で八・九パーセントの増であり管渠布設・枝線工事費の増額が主なものであります。

老人保健（医療）特別会計の予算総額は、五億七千九百六十五万二千円で昨年当初比で〇・六パーセント減となっております。

天王町町営バス事業特別会計については、現在秋田中央交通（株）が運行している塩口線の代替バスとして、町営でバス運行事業を行い、その円滑な運営と経費の収支状況の明確、適正を図るため新しく特別会計を設定し、当初予算総額は一千八百八万三千円となっております。主なるものは、人件費（二名分）、燃料費、バス購入費等であります。この事業につきましては町営で始めて施行いたす関係上、いろいろな問題も予想されますので、町民ならびに関係各位の特段のご協力とご理解をお願い申し上げます。

汝なんのために そこにありや

最後に私は町民各位のご協力により、自分の生まれた「郷土天王町の首長」になりえたことに無限の誇りを感じております。また、責任も感じております。

ハーバード大学のジョンソン教授が毎年の入学式と卒業式にいつも訴えていた、「汝なんのためにそこにありや」の言葉は常に私の脳裡からはなれません。すなわち、どのような環境に立たされても、首長としての誇りをもって、自らの責任で自らの目的と任務を遂行しながら生きていかなければならないのであります。人間は困難に打ちかって成熟し、困難な時ほどその真価が問われます。

町政においても解決すべき難問が山積しております。住民一人一人が各々英知を結集し果たすべき役割分担を明確にし、地域住民との連帯感を醸成しつつ、先達から受継ぎ―後世に引継ぐ―郷土愛、人間愛の「心のともしび」を消してはなりません。

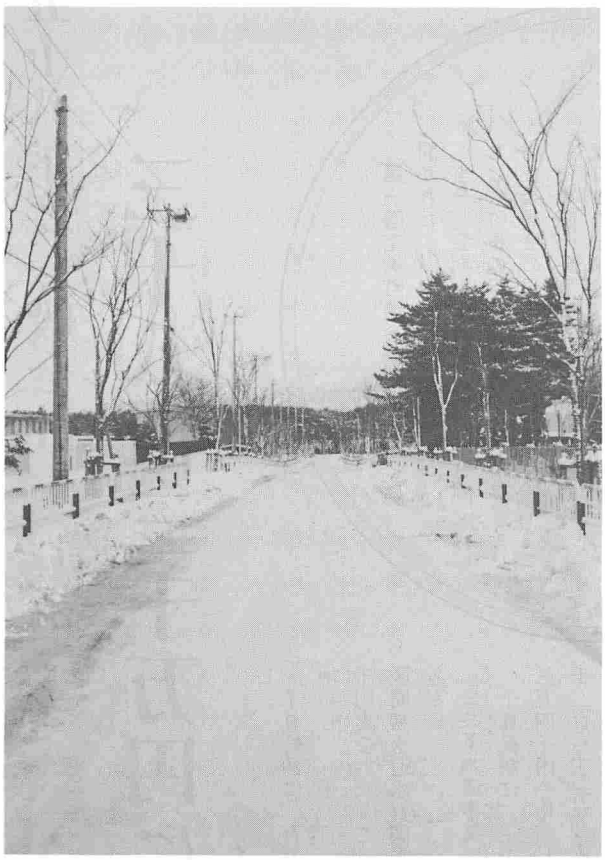
そして、「平和で心豊かな郷土・天王町」を建設するには、全町民の血のにじむような努力と長い長い歳月を要することもまた確かであります。

二十一世紀にむかうこれからの地方自治の途のりは、あまりにもきびしく、険しく、地方自治はまさに「冬の時代」であります。

「役人乱れれば国乱れる」私達公務員が自らにきびしく、常に奉仕の精神をもって努力し、立派な仕事をすれば、必ずや町民の心をうち、理解してくれるものと私は確信しております。

試練の今こそ自らを厳しく律し、常に自己反省を怠ることなく、住民の信頼と期待にこたえるため、職員ともども全力を傾注し懸命の努力をいたす覚悟であります。

議会をはじめ、町民各位の正しいご理解と、ご協力を心からお願い申し上げ、ごく要点のみ申し述べ、所信表明にかえさせていただきます。



△ 緑豊かな生活環境の整備を基本施策に（長沼にて）

昭和59年度の主な事業

① 大崎ことぶき荘新築工事 2千470万円

② 二田保育園運動広場整地工事 1千10万円

③ 追分幼児プール建設工事 2千630万円

④ 農村総合整備モデル事業 環境・生産基盤整備工事 9千370万円

⑤ 公営住宅（14戸）建築工事 1億875万円

⑥ 天王中学校屋内運動場改修工事 3千800万円

⑦ 下出戸分館改築工事 1千万円

改修工事のなされる天中屋内運動場

3月定例町議会

●●● 31案件を可決 ●●●

五十八年度一般会計 三十八億三千万円に

第一回定例町議会が、三月五日に開かれた。

当日、会期を十四日までの十日間とし、町長の行政諸報告に続き、各常任委員会の報告がなされた。

その後、昭和五十八年度補正予算案などを審議し、原案どおり可決後町長による施政方針が行われた。

七日の三氏による一般質問の後、八日から議案を審議。昭和五十九年度の各予算は、各常任委員会に付託審議され十四日の本会議において原案どおり可決された。

一般会計に 二億六千万円を増額

昭和五十八年度一般会計予算の総額に、二億六千八百九十三万一千円を増額し、予算総額が歳入歳出それぞれ、三十八億三千百十一万六千円となった。

この主なものは、◎役場駐車場用地取得資金繰上償還金一千二百十三万三千円、◎第三種生活路線運行費補助金の四百六十七万七千円　◎財政調整基金一億六千万円　◎追分地区児童館用地取得資金及び同・駐車場用地取得資金の二千九百二十四万七千円　◎環境基盤整備（第一工区）工事一千二百二十六万七千円　◎除雪に伴うグレーダー等の借上料九百十八万円　◎追分長沼三号線用地取得資金繰上償還金一千三百十九万八千円　◎天王勤労者体育センター用地造成事業資金及び同・駐車場用地取得資金繰上償還金の四千六百六十八万円などである

各特別会計にも補正

昭和五十八年度特別会計予算（国保・簡水・下水道）にも、それぞれ増額され、次のとおりとなった。

国民健康保険事業特別会計

予算総額に、一千八百三十五万八千円を増額し、八億九千三百九十万円となった。この主なものは療養給付費の一千八百三十四万七千円である

簡易水道事業特別会計

予算総額に、百五十万円を増額し、八千二百五十九万八千円となった。これは出戸地区簡易水道水質調査委託料である。

公共下水道事業特別会計

予算総額に、一千八百八十三万四千円を増額し、一億八千二百六十二万九千円となった

この主なものは、秋田湾雄物川流域下水道事業負担金の二千百十一万一千円の他、減額補正された災害復旧工事請負差額の六十五万四千円などである。

中小企業振興融資額を アップ

天王町中小企業振興融資斡旋に関する条例が一部改正された。

これは、企業の安定と業界の振興発展に資するために、融資斡旋事業の強化を図ったもので、従来の融資斡旋の最高限度額を三百万円から四百万円に引きあげ、その貸付期間についても三年以内となっていたものを五年以内に改めたものである。

職員定数条例の 一部を改正

町職員定数条例が一部改正された。

これは、町立図書館の設置等に伴い、職員の適正な配置をはかるために職員定数を改正したものである。

同条例により、湖岸保育園の保母を六名から七名に、教育委員会の事務局職員を九名から七名に、農業委員会職員を四名から三名に改めた。

また、新たに追分地区児童館事務職員二名と図書館職員三名を加えた。

都市公園条例を 一部改正

都市公園事業として、昭和五十六年度より施行してきた追分地区公園（野球場）が部分完成したことに伴い、天王町立都市公園条例が一部改正された。

同条例により、名称及び所在地を「天王町立追分地区公園天王町天王字長沼・野球場」とした他、野球場施設の使用料などについても定めた。

非常勤特別職の 条例を一部改正

天王町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部が改正された。これは図書室運営委員会委員を、図書館協議会委員に改められたものである。

この条例は昭和五十九年四月一日から施行される。

分館主事を増員

天王町公民館設置条例の一部が改正された。

これは、世帯の増加にともない、分館主事を増員し、円滑な分館活動を促進するために、蒲沼分館主事を二名から三名に、出戸新町分館主事を四名から五名に改められたものである。

二路線を町道に認定

町道として、追分下出戸線江川天王線が路線認定された

これは、県道秋田男鹿線の改良工事により、供用開始された江川バイパス（四十七年度）、出戸バイパス（五十二年度）について、路面・側溝整備を認定替え協議の際の条件に付していたが、これらの条件が五十八年度に満たされたことによるものである。

町税条例の一部を改正

天王町税条例の一部が改正された。

これは、特例措置として五十九年度の住民税について、人的控除額を各七千円づつ引きあげたものである。

寄付を採納

下出戸部落会長（佐々木栄治）より、下出戸分館建設資金に充当することを条件に寄付の申出があり、これを採納することとした。

寄付金額は、三百万円である

湖南地区衛生処理組合規約を一部変更

湖南地区衛生処理組合規約が一部改正された。

これは、湖南地区衛生処理組合衛生センターの完成により、組合事務所の位置を変更するもので「天王町天王字上江川四十七番地の百」を「昭和町大久保字大藤崎一番地」に改めたものである。

監査委員に鎌田氏を再任

天王町監査委員に、鎌田悦郎氏(61)が選任された。

これは、三月三十一日で同氏の任期が満了となることに伴い、再度選任し、同意を求めたものである。

同氏は、昭和三十六年から四十六年まで町選挙管理委員として活躍。その間委員長を歴任、また四十二年から四十六年まで南秋田郡町村選挙管理委員会連合会長を務め、町監査委員として現在に至っている。

住所　天王町天王字上の台三四―一

生年月日

大正十二年二月二十二日生

球春来たる
オープン間近の長沼球場

人権擁護委員に四氏を推薦

天王町人権擁護委員候補者に、次の方々が推せんされた

○安田慶太郎氏(74)
天王町天王字羽立一八四

○藤原久氏(72)
天王町天王字上江川四七―五一六

○高桑謹治氏(68)
天王町天王字天王一二二―二

○宇佐美ミエ氏(65)
天王町天王字追分四二

以上の四氏は、任期満了となることから、再推せんをうけたものである。

町営バスの設置及び管理に関する条例を制定

生活路線（現塩口線）バスを町営で運行することに伴いその適正を期すために、天王町町営バスの設置及び管理に関する条例が制定された。

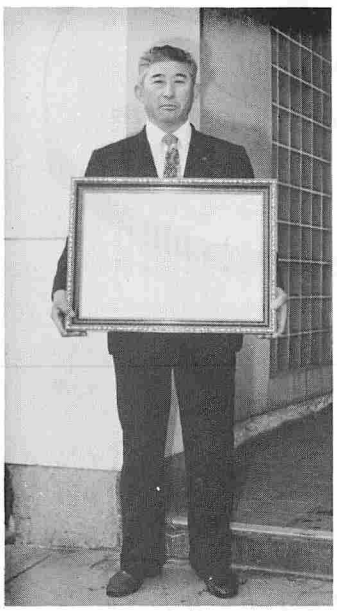
これは、地域住民の交通を確保し、福祉の向上をはかるため、起点の天王橋（天王一〇四―二〇）から終点の藤原記念病院前（蒲沼一三七―七二）までの一〇・八八キロメートルについて、使用料の額を定めた他、使用料の徴収、減免及び使用料を免れた者に対する過料などについて定めたものである。

この条例は四月一日から施行される。

また、天王町町営バス事業特別会計条例も制定された。

天王町議会

全国町村議会議長会表彰に二月二十八日に伝達式



天王町議会が、二月二十八日秋田県自治会館において、昭和五十八年度全国優良議会として表彰されました。

これは、本町議会が地方自治の本旨にそって議会運営の向上に努め、住民福祉を増進した功績がたたえられたものです。

三月二十六日には、町公民館において受賞記念祝賀会が催され、現職議員の他、永年にわたり議会運営に功績のあったOB議員の方々などが参列。

住民の意志を反映させる議決機関として、より一層使命感にあふれた活動を続けていくことを誓いあいました。

県内での表彰は、二議会のみです。

出戸浜いこいの森利用施設設置条例を制定

出戸浜いこいの森利用施設設置条例が制定された。

これは、昭和五十四年度から県営で進められてきた下浜山保健保安林整備事業に伴う附帯施設設置事業が完成し、町民の保健・休養に資することを目的としたものである。

同条例により、名称及び位置を「出戸浜いこいの森」「天王町天王字下浜山」とした他管理棟等の使用については、町長の許可をうけることとした。

また、営利を目的とすると認められたときなどは、許可を取り消すことができるとした

この条例は、四月一日から施行される。

町立図書館の設置条例を制定

天王町立図書館の設置にともない、住民の教育文化の向上に寄与することを目的に、天王町立図書館設置条例が制定された。

同条例により名称及び位置の他、図書館に必要があるときは、分館・閲覧所等を置くことができ、図書館の管理は町教育委員会が行う。

また、図書館協議会を設置し、その委員の定数は十名以内で、任期は二年とし、図書館の運営に必要な事項は、町教育委員会規則で定めることとした。

この条例は公布の日から施行し、四月一日から適用される

集排二五号を変更契約

農村総合整備モデル事業第九〇六号（集排二五号）工事請負契約金額が、六千六百二十万円から七千九百十三万二千円に変更された。

これは水路蓋の増設によるものである。

管渠布設工事も変更契約

天王汚水第五号幹線管渠布設工事請負契約の契約金額が六千五百四十万円から六千六百六十一万円に変更された。

これは管渠布設の延長によるものである。

昭和59年度
一般会計予算
25億2,600万円

昭和59年度天王町一般会計、各特別会計予算案が、3月14日の本会議において原案どおり可決された。

一般会計の予算総額は、25億2,600万円で前年度当初予算より10.53%の減です。

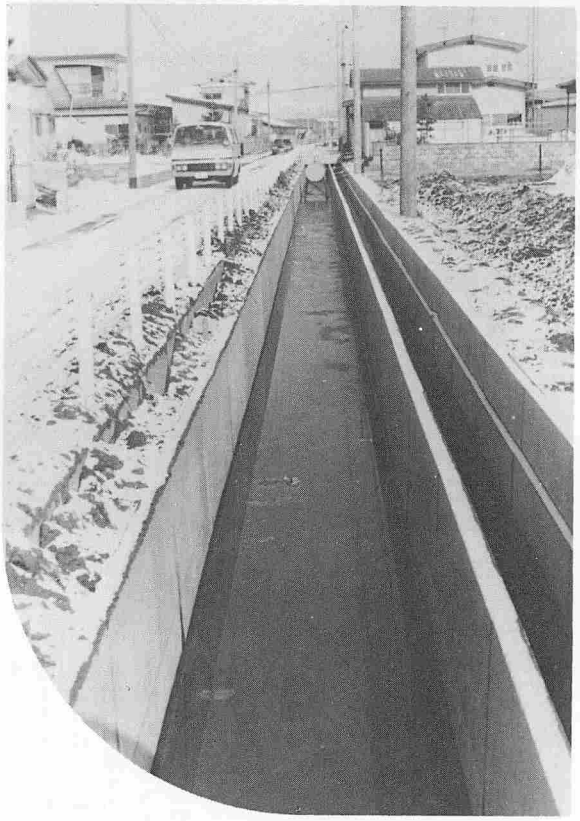
国民健康保険事業特別会計は、9億2,206万8千円で、前年度当初予算より7.57%増です。

老人保健(医療)特別会計は、5億7,965万2千円です。

簡易水道事業特別会計は、前年度当初予算より236万1千円減の7,148万円となっています。

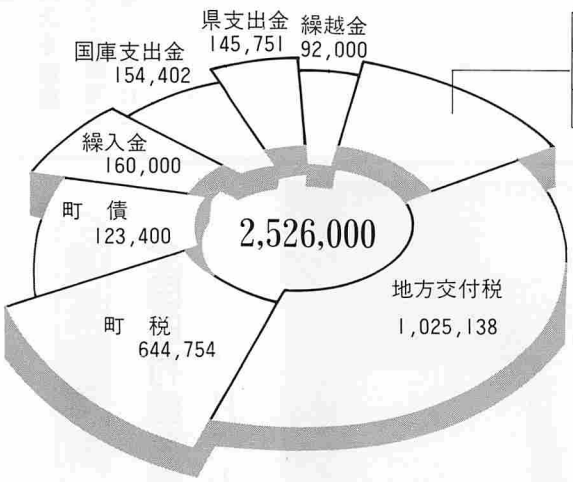
公共下水道事業特別会計は、1億6,958万9千円で、前年度当初予算より8.89%の増となっています。

新たに設置された町営バス事業特別会計は、1,808万3千円です。



集落排水整備工事により、用排水路が分離された天王地区（農村総合整備モデル事業）

歳　入（単位：千円）

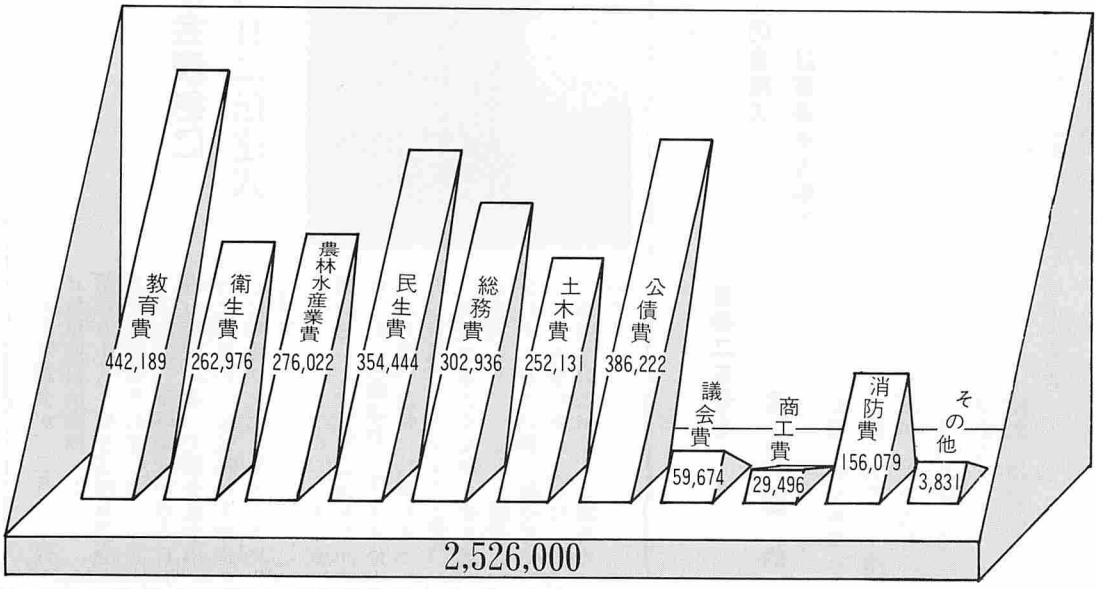


地方譲与税	39,500
使用料・手数料	41,284
諸　収　入	47,840
そ　の　他	51,931

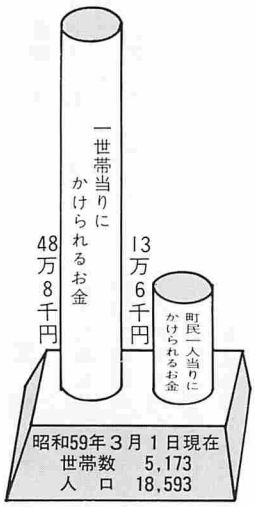
各特別会計予算

国民健康保険事業特別会計	922,068千円
老人保健(医療)特別会計	579,652千円
簡易水道事業特別会計	71,480千円
公共下水道事業特別会計	169,589千円
町営バス事業特別会計	18,083千円

歳　出（単位：千円）



町民当りの費用



五月一日から町営バスを運行

割安料金で対処

町では、在来の秋田中央交通・塩口線バス（第三種生活路線バス）が、四月三十日で廃止されることに伴い、翌五月一日から町営バスを運行する。

この代替運行にあたっては既存路線の内・男鹿市の行政区間を取りやめ、新たに管内路線を延長する他、停留所を三ケ所新設。また、料金については、大人百円～百五十円。子どもは、全区間五十円と割安になっている。

秋田中央交通の塩口線バスが、走り始めて二十五年。

湖岸地域住民の生活路線バスとして、朝夕の通勤・通学時には混みあう。しかし、車社会の発達も相まってバス離れ傾向が目だつようになり、昭和五十六年九月に、第三種生活路線バス（過疎地で利用客五人未満）として国が赤字路線に確定。四月三十日まで廃止する。

町では、これらの経緯をふまえながら、代替して翌五月一日から町営バスを運行し、地域住民の生活路線確保につとめるもの。

この代替運行にあたり、町では、既存路線の内、天王橋から中交船越バスターミナルまでの区間をカット。新たに国鉄二田駅から藤原記念病院前までの区間を延長し、運行距離を一〇・八八キロとする他バス停留所は、現行のものに、天王海洋センター東入口・西入口、藤原記念病院前の三ケ所を増設。一日の運行回数については、乗降者の少ない時間帯一往復減らし七往復から六往復とする。

また、料金等については、次のとおりとする。

基準となる料金

大人は、百円から百五十円に、こども（十二歳未満）は全区間五十円とする。また幼児（六歳未満）は、大人と同乗した場合、ひとりまでは無料とする。

定期券

定期券は、通勤・通学とし期間は、一カ月料金と三カ月料金の二種類・割引料金を適用する。

回数券

十一枚綴りの回数券を発行し、料金は十枚分とする。

業務取り扱いの窓口

町営バス運行の業務は役場総務課が窓口になります。

町営バスを大いにご活用くださるようお願いします。

基準使用料

	1 天王橋	2 天王駅入口	3 神明社前	4 塩口	5 渋谷下丁	6 渋谷上丁	7 BGセンター西入口	8 中羽立	9 羽立下丁	10 羽立中丁	11 羽立上丁	12 BGセンター東入口	13 野沢	14 大崎下丁	15 大崎上丁	16 ニツポ電工前	17 二田入口	18 役場前	19 二田駅	20 藤原記念病院前
1																				100
2																			100	100
3																		100	100	100
4																	100	100	100	100
5																100	100	100	100	100
6															100	100	100	100	100	100
7														100	100	100	100	100	100	100
8													100	100	100	100	100	100	100	100
9												100	100	100	100	100	100	100	100	100
10											100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
11										100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
12									100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
13								100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
14							100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
15						100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
16					100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
17				100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
18			100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
19		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
20	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

柏崎佐吉郎 吉田兼廣 の両氏

功労者表彰に輝く

柏崎佐吉郎氏

吉田兼廣氏

三月十四日、県正庁において、昭和五十八年度消防功労者表彰の伝達式が行われた。

本町では、町消防団長柏崎佐吉郎氏（天王・六十六才）が、日本消防協会より、功績章を受けた。

氏は、永年にわたり消防思想の普及に尽力し、消防の発展に特段の功績があると認められたものである。

また、第五分団長吉田兼廣氏（大崎・五十四才）は、消防庁長官永年勤続功労彰を受賞。

氏は、永年にわたり消防団員としてその勤務が優秀で、他の模範であると認められたものである。

受験者講習案内

危険物取扱者試験の受験者に対する講習会が次のとおり行われます。

▽とき　六月十五日～十六日・乙種第四類
　　六月十八日・丙種

▽ところ　秋田市文化会館

▽受付期間　四月二十三日～四月二十八日

▽申込先　秋田市山王四丁目一番一号・秋田県危険物安全協会

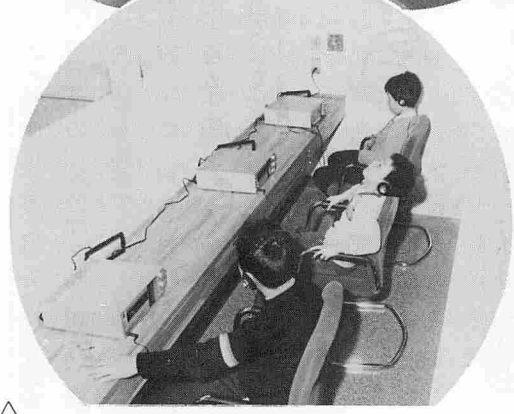
◎その他

講習会の案内は、男鹿地区消防本部にあります。

町立図書館オープン

気軽にご利用ください

いろいろな図書がいっぱいの閲覧室



好きな音楽をたのしめる聴覚室

心を豊かに生活にうるおいを

町立図書館がオープンしました。図書館では、みなさんの毎日のくらしの中に役立つ、いろいろな分野の図書をそろえています。しかも直接書架から手にとってみられます。

教養に、仕事に、そして趣味にあわせて気軽にご利用ください。

各室ごあんない

軽読書コーナー

新聞六種、雑誌十八種類を配しています。

みなさんのくつろぎの場としてご利用ください。

聴覚室

好きな音楽をひとりで楽しむことができます。係員に利用の手続きをしてください。

閲覧室

成人閲覧室と児童閲覧室とが並列し、一般文学を中心にいろいろな分野の図書が約二万冊配架されています。

郷土資料室

古文書などの書籍類を陳列しています。また、各種催しの展示ホールとしても活用されます。

幼児コーナー

絵本などをたくさんそろえています。小さいお子さんのためにご利用ください。

このコーナーは、土足を禁止していますので、寝ころんでもごらんになれます。

視聴覚室

講演会、映写会、レコード鑑賞会、各種講座、そして読書サークルの学習の場として利用されます。

※開館時間は、午前九時から午後六時までです。

はじめての方は、カウンターの係員に「貸出券申込書」を提出してください。登録されますと「図書貸出し券」をさしあげます。

四月一日から七日までの一週間は一般開放し、個人の貸出し券を発行いたします。

図書の貸出しについては、四月八日から行います。

なお、毎週月曜日及び国民の祝日は、休館日となっています。

郷土史コーナー【138】

学校教育の沿革⑬

—国民学校令の発布—

国民学校令が発布されたのは、太平洋戦争の端緒となったハワイ真珠湾空襲が開始された昭和十六年十二月八日を九か月さかのぼる三月一日のことであった。四月一日から天王尋常高等小学校、出戸尋常高等小学校は、それぞれ天王国民学校、出戸国民学校と改称され「国民学校ハ皇国ノ道ニ則リテ初等普通教育ヲ施シ、国民ノ基礎的錬成ヲ為スヲ以テ目的トス」国民学校教則に従って学校が運営された

両校に於いてどのような学校経営が行われたか。この時期—十六年から二十年—を語る沿革史が、両校ともに欠落している。終戦直後、軍国主義教育の証拠を残すなどの指示によって焼却処理されたからであろう。しかし、前年の記録から、皇国民錬成の為いかなる活動が展開されていたか推察できる。

●四月十二日　天王小学校勤労農場二段歩ヲ二田是儀ヨリ借入、本年度ノ報国運動ニ資ス

●四月二十五日　靖国神社臨時大祭　臨時休業

●七月六日　事変三周年記念式ヲ行フ

●十月二日　日独伊三国同盟条約ニ際シ賜ハリタル詔書奉読式

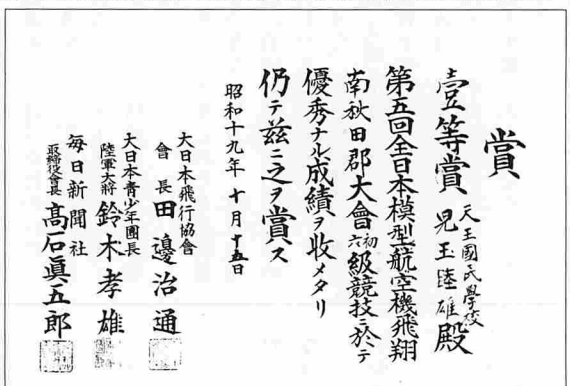
●十一月十日　紀元二千六百年奉祝式典午前十一時ヨリ雨天ノタメ旗行列延期

●十一月十一日　記念奉祝旗行列（天小沿革史より）

また、ここに掲げた賞状からも、当時の教育活動の総てが戦争遂行と深く関わっていたことが推し量られるであろう

敗色が濃くなるにつれ、避難訓練、農作業、稲の落穂拾い、イナゴ採りなどが、教育活動に大きな比重を占めていった。

（石川記）



賞

壹等賞　天王國民學校　児玉隆雄殿

第五回全日本模型航空機飛翔

南秋田郡大會六初級競技ニ於テ

優秀ナル成績ヲ收メタリ

仍テ茲ニ之ヲ賞ス

昭和十九年十月十五日

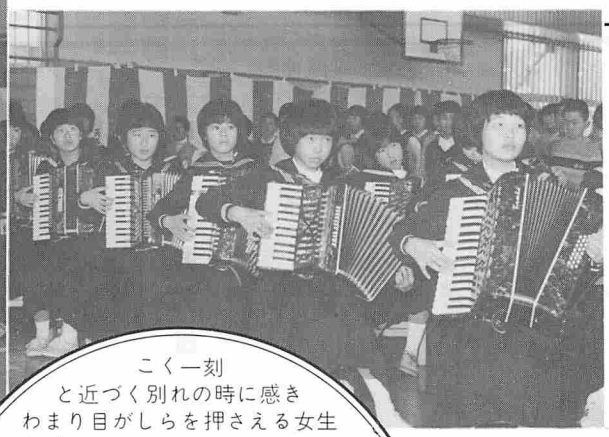
大日本飛行協會　會長　田邊治通

大日本青少年團長　陸軍大將　鈴木孝雄

毎日新聞社　最高顧問　高石眞五郎

（児玉兼蔵氏提供）

卒業おめでとう
未来に向かって大きくはばたく



友よ！たくさんの思い出ありがとう（天王小）

こく一刻
と近づく別れの時に感き
わまり目がしらを押さえる女生徒がいた。
最後の演奏を力いっぱいかなでる小学生がいた。
元気いっぱいの歌声が父兄の涙を誘う園児らがいた。
元気でたくましい子どもになれよ！
思いやりのある豊かな心の持ち主になれよ！
厳しさに打ち勝つ、誇り高い人間になれよ！
お世話になったたくさんの方々の声援を背にうけて、卒業生(卒園児)らは、夢と希望とチョッピリの不安を胸に今、思い出多き学舎を後にした。

道は、それぞれに違っても天王中の卒業生としての誇りを忘れずに！

中学生としての自覚をただよわせる（追分小）

小学校にいったら友だち何人できるかな？（天王幼稚園）

住みよい社会は人権を守り育てることから

天王町が人権モデル地区に

天王町が法務省人権擁護局から「人権モデル地区」に指定されました。

「人権モデル地区」とは、重点的な啓発活動を行い、人権思想の普及高揚を行おうというもので、町民の人権を守り、また、これを伸ばしていくために、講演会・座談会・映写会など各種行事を行い、人権相談所を毎月１回実施の予定です。

人権擁護とは他人を思いやる心

「人権擁護」というと、大変むずかしいことのように考えますが、これは、お互いに〝人間が人間を大切にする〟ということです。

人権は、誰もが生まれながらに平等にもっているということが憲法で保障されています。これが「人権尊重」と「人権擁護」の考え方なのです。

模範地区にふさわしい町づくりを

天王町が人権モデル地区に指定されたこの機会に、県内の模範地区にふさわしい明るく住み良い町づくりのため、正しい人権を身につけましょう。

新学期を控えて
子どもの交通事故防止

卒業式が終ると、すぐ入学式が始まります。

各家庭での交通安全教育をしっかり行って、子どもを交通事故から守りましょう。

お母さんが先生となって

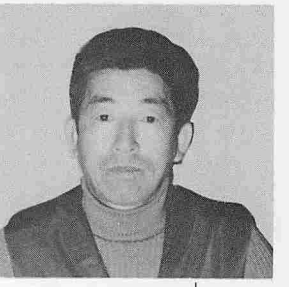
具体的な教え方を！

生活にゆとりを！

帰宅後の遊びにも注意を！

わたしと天王町

人間は環境をつくり 環境は人間をはぐくむ



追分 藤井秀雄

隣町の旧船越町から、ここ追分西に住みついて二十九年目をむかえます。住みはじめた頃は戸数も少なくて、県道の両側に松並木が枝を伸ばし淋しい風景を呈していました。風があると家の中まで砂が飛んできて、大変なものでした。家の周囲の草原でキリギリスを捕え、茸採りをし、松かさを燃料としたり、子どもたちと過ごしたことが思い出されます。

松並木が切られ、県道も舗装されて、今では戸数も増加し大きく変ぼうしました。

この三月十六日、追分小学校の卒業式にお招きをいただいて、しばらくぶりで小学校へ行きましたが、三人の子どもたちがお世話になった頃と比較して、校舎は大きく、広くしかもモダンになり、生徒の数も多く驚くことばかりでした。

あいにくこの日は、深い雪にうもれ運動場は見えませんでしたが、その昔、PTAの行事で父兄が毎年、運動会前に運動場の石除き作業をしたことが思い出されました。

自宅から砂丘の松林を越えていくと、雪のないときは約二十分、積雪時は四〇～五〇分ぐらいで、海岸にたどりつきます。海を眺め、時のたつのも忘れて流木・石・貝殻を探し、松林の中では、春の春蘭、野の草、そして秋の茸採りなど、自然に囲まれて暮らす日々。

「人間は環境をつくり、環境は人間をはぐくむ。」とか言われます。この豊かな自然を大切にし、子孫に伝えてやりたいと思います。

固定資産課税台帳の縦覧は 4月20日までです

昭和59年度分の固定資産税の課税の基礎となる、固定資産課税台帳の縦覧を次のとおり行います。

▷とき　4月2日～20日
（日曜日を除く）
午前9時から午後4時30分まで
（土曜日は、午前11時30分まで）

▷ところ　天王町役場

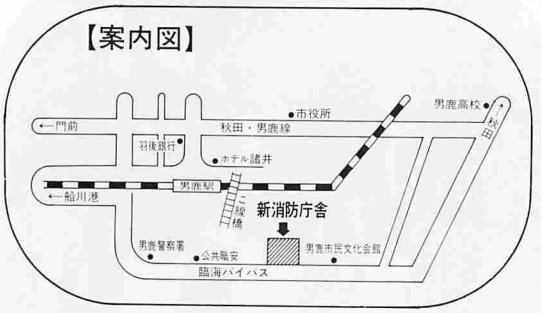
男鹿地区消防本部 新築移転のお知らせ

このたび、男鹿地区消防一部事務組合庁舎が完成し、三月二十七日から、次のところで業務を開始しています。

○住所（〒010-05）男鹿市船川港船川字埋立地二-一二-七

☎（0185）二三-三一一九

【案内図】



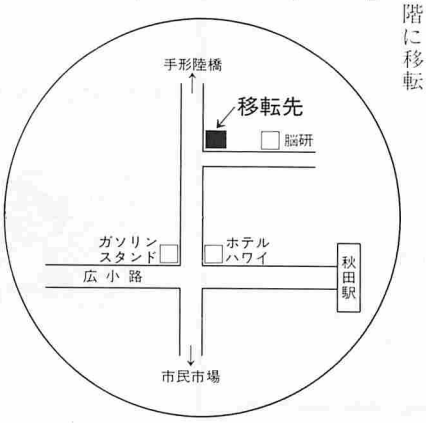
夜間休日応急診療所が移転

四月から県成人病医療センターで

大町四丁目で診療を行っている夜間休日応急診療所は、四月一日から、（財）秋田県成人病医療センター（千秋久保田町六番一七号）一階に移転します。夜間や休日の急な発病の際に、どうぞご利用ください。

▽診療科目
夜間　内科・小児科・耳鼻いんこう科
休日　内科・小児科・外科

▽診療時間
夜間　午後8時～午後11時
休日　午前10時～午後4時



昭和59年度登録及び 春季狂犬病予防注射日程

犬を飼っている方は必ず登録・注射をして下さい。

実施	日時	実施場所
4月24日(火)	10:00～10:30	大崎生活館
	11:00～11:20	羽立分館
	1:00～1:20	塩口分館
	2:00～2:20	天王コミュニティーセンター
4月25日(水)	10:00～10:20	上出戸分館
	11:00～11:30	出戸地区コミュニティーセンター
	12:00～12:30	下出戸神社
4月26日(木)	10:00～10:20	江川児童館
	11:00～11:30	天王町役場
	1:00～1:30	追分児童館
4月27日(金)	10:00～10:20	牛坂地区高橋ドライブイン
	1:00～1:30	追分駅前消防器具庫

○登録手数料……2,100円
○狂犬病予防注射手数料……1,240円
○狂犬病予防注射済票交付手数料……360円
○上記指定場所以外出張加算料……1,000円
※愛犬手帳を持参して下さい。

第十七回公民館大会

多くの課題を乗りこえ
盛会裡に幕
より確かなものへ

〝学ぶ輪を広げる町民のつどい〟をメーンテーマに、三月四日、第十七回天王町公民館大会が行われた。

今大会には、各種団体、一般の方々など約五百名が参加し、広い体育館が、〝人〟〝人〟でいっぱい。

はじめに、前分館長と先に募集した読書感想文入賞者を表彰。続いて、株式会社辻兵社長の辻兵吉氏が「これからのくらしと秋田県の経済と題して講演を行った。

午後からは、三分科会に分かれ熱の入った話し合いが進められた。

「期待される公民館、分館とは」では、花だん作りや座禅を行事に取り入れ、心の豊かさを求めている実践例や、分館活動への理解を深めてもらうための方策について検討しあった。

「生涯学習と町づくり」では、学習活動を進める上での大切な要素は何か、学習から実践活動へ発展させる手だては？などについて意見交換がかわされた。

「団体活動とリーダーの役割」では、活動することの意義やリーダーの悩み、心がまえなどについて話し合いが続けられた。

その後、全体会が行われ、参加者全員が、この大会での成果を確認し合い散会した。

住みよい地域づくりに
参加者は真剣そのもの。

天王町俳句会

年度賞決まる

天王町俳句会では、このほど年度賞に薄田兵峰安田鹿山の両氏を、また新人賞には、安田幽子氏を選出した。

受賞句は次のとおり

○花曇り退院朝の髪を梳く　薄田　兵峰

○いき立つ軍鶏のとさかに梅雨走る　安田　鹿山

○春泥を気にする歩幅足袋白し　安田　幽子

善意ありがとう

このたび、次の方々から善意が寄せられた。

〈町社会福祉協議会に〉

○　天王字持長根一の内田鉄雄さんより、母ミツさん死亡の際の香典返しとして、金五万円。

○　天王字ハラヘ六〇―一の大沼重雄さんより、妻イサさん死亡の際の香典返しとして金五万円。

○　天王字上北野一二三―一五の石垣秀明さんより、父明さん死亡の際の香典返しとして金五万円。

〈町育英会に〉

○　天王町天王字上江川四七の中村明利さんより、長男準さん死亡の際の香典返しとして金三万円。

どうもありがとうございました。

ふるさとペンリレー

わがふるさと天王町

伊　藤　邦太郎
（天王出身）

今年は例年になく雪が多かった年ですが、その冬もようやく過ぎようとしています。あまり雪の降らない東京も、今年はこれでもかこれでもかと降り続けました。故郷を離れて30年にもなりますが、今年程降雪の多い年もなかったと思います。なぜこのように雪が多かったのかは、必らず原因があるはずです。

人々は云ってきた、『道に迷ったらもと来た道へもどれ落とし物をしたらもと来た道をたどれ』と、過日知人の新聞記者と一夕語り合いました。彼いわく、「今後の小生の記者としての使命は、教育と食糧問題だ。」と。

昨今教育の荒廃が叫ばれていますが、目的を失った青少年を正常の姿にもどすためには、故郷の小さな文化、ロマンを教えなければならないと強調していました。

わがふるさと天王町には、蜘蛛舞と牛乗りの神事、三十三番観音碑、八大竜王碑それに地蔵尊も多い。追分三差路の虫おさえの地蔵、自性院の子安地蔵、渋谷墓地の子守地蔵、二田墓地の子どもが３人寄りそう地蔵、大崎墓地の猿子地蔵等、それにハタハタ塚もあちこちにあります。

これ等の片隅の小さな文化遺産は、私の人生の原点です。いや天王町出身の皆さんの原点です。原点に帰れ！道に迷ったらふるさとを思いだし、また歩み始めたい。

短歌

天　王　柏崎　悦枝

曾孫の顔見てわが身の歳数う
北風しみるほほの冷たき

追分西　佐藤　金

切り干し大根夕餉の菜に購えば汽車の中にも香りただよう

塩　口　丸谷　キエ

屋根の雪落とす息子に声かけて転がる吾を孫は笑えり

追分西　村木　たけ

ひそやかに愛交わし居る女の歌読めば吐息の伝わりて来る

渋　谷　桜庭アヤエ

若きより夫に逝かれしわが友の農と子育て終えて逝きたり

塩　口　米谷スツエ

立春と言えど降り続くどか雪に夫の除雪は日課となりぬ

俳句

追分西　鶴谷　トシ

堅雪の少しゆるみてつまずけり

天　王　米谷　冬華

早春や押せば吹き出すポットの湯

二　田　村井　広子

寒明けや老の溜り場法螺語り

下出戸　佐々木汀月

早春や小溝に落ちる水の音

長　沼　渡部チヨノ

柏汁や二日つづけて寒吹雪

川柳

追分西　渡　升

ゴシップが本気になって佳き日なり

江　川　伊藤テツエ

吾が血肉等しく分けた五ツ星

二　田　薄田国三郎

貧乏の底をころがる風のむち

江　川　伊藤　昭光

文句言う人にゆずってみたい役

4月から保険料 6,220円に

こくみん

年金制度は、世代と世代の相互信頼のもとに行われている助け合いのシステムです。

年金制度の健全維持に備え

国民年金の保険料が四月から六、二二〇円になります。これは、年金受給者の増や年金額の引き上げなどに備え、年金制度を健全に維持していくためのものです。

年金の給付財源は、みなさんが納めている保険料とその積立金、さらには国の負担金（年金給付額の1/3）で賄われていますが、なかでも柱となっているのが保険料です。

この保険料が引き上げられるわけで、加入者のみなさんや家計を預かる奥さんたちにとって大変頭の痛いところかもしれません。

給付と負担のバランス

誰もが、少ない負担で多くの年金を望んでいます。しかし、もし保険料だけを据え置いて年金額だけを引きあげることになれば、これから増えつづける年金受給者と若い世代が負担する保険料との収支バランスがとれなくなってしまいます。

このバランスを保つためにも制度を支える若い世代の負担を段階的に引き上げなければならないのです。

今回の保険料の引き上げがこれからの適正な給付と世代間の不公平をなくすために、ぜひとも必要であることを理解してください。

なお、付加保険料は今までどおり、月額四〇〇円です。

ねんきん

俳句「早春'84」

渡部　六愁

流しあう背中の艶に春陽溜め
転がった硬貨に春の音満つる
ほつれたる糸襟足の春化粧
待針の銀色まぶしおぼろ月
木の芽ほぐれ茜に染まる空
一枚
本心を明かすつもりや春うら
春の湖イルカの芸の店開き
夕づつの男鹿の静けさ鳥帰る

窓口事務の一部を追分地区児童館で

追分地区児童館では、追分地域住民のために急を要しないものに限り、窓口事務の一部を受付けいたしております。

取り扱い業務は次のとおりです。

△住民票の謄本及び抄本（印鑑・料金一通につき百円必要）

△戸籍の謄本及び抄本（印鑑・料金一通につき参百円必要）

△身分証明書（印鑑・料金一通につき弐百円必要）

△印鑑証明書（印鑑・登録カード・料金一通につき百円必要）

なお、戸籍の謄本・抄本交付については法的に出来ない場合もあります。又税金及び年金等の納付は直接役場収入役室に納付して下さい。

労働保険料

申請はお早めに

労働保険料の申告期限は、五月十五日までです。

お問い合わせについては、県雇用保険課（六〇―一七五四）または、秋田労働基準局（六二―六六八一）におたずねください。

不用犬を回収

不用犬の回収が次により行われます。

回収日時
四月十八日（水）
午前八時三〇分から九時まで

受付場所
役場窓口に印鑑持参の上お天王いでください。

慶弔だより

お誕生おめでとう

（二月中）

棒沼台　増田俊宏
塩口北野　三男　純
長沼　石川真文
野沢　長女理美
宮の後　伊藤　勇
不動台　長男真樹
二田　三浦祐次
天王　長男祐貴
羽立北野　安田孝三
不動下　長男久記
道合　石川　茂
一向　二女美紀子
下狼縁　越後清美
江川　長女紗耶香
大長根　工藤　均
追分　長女恵美
上江川　秋山正純
二田　長女友香
ハラヘ　京谷　薫
羽立　二女幸子
上北野　斎藤一三
二男孝幸
佐々木　茂
長男伸貴
桜庭金市郎
二男金栄
浅野敬悦
長男宏之
児玉良雄
長女麻美
安田義代
長女愛美
中村和夫
二女文子
門間恒悦
長男修平

お二人の前途を祝福します

（山形県下狼縁）村田正広　佐々木久美子
（男鹿市不動下）鎌田勝弘　桜庭美苗子
（上江川）藤原一人
（秋田市）田口　恵
（富山県宮の後）今井太志　橋本ひとみ
（天王）柏崎　敦
（能代市）武田優子
（児玉）松村良弘
（男鹿市）夏井美智子
（若美町）唐津信幸
（羽立）安田由美子
（道合）金子雄一
（五城目町）谷地清美
（鶴沼台）御所野　豊
（男鹿市）佐藤真理子
（北野）藤原敏弘
（五城目町）斎藤ちづ子
（長沼）佐藤　博
（大館市）山内美保子
（天王）西村慶三
（秋田市）伊藤多美子
（男鹿市）黒川　聡
（道合）越後幸子
（北野）菊地信幸
（能代市）小玉由美子
（鶴沼台）半田　徹
（本荘市）高橋千鶴子
（茨城県）寺島敏夫
（羽立北野）斎藤弥生
（富山県）今井裕幸
（宮の後）橋本　環
（大内町）大場武紀
（阿仁町）杉田　香

おくやみ申し上げます

上沖中谷地　三浦　チヨ74才
上江川　中村　準16才
二田　大関フミヱ34才
野沢　小玉　ミヨ46才
上沖中谷地　三浦　幸一51才
上江川　落合シズヱ66才
追分　小野　金治83才